

★★★第27回 大阪府歯科衛生士会 学術集会プログラム★★★

日時：令和4年1月16日（日）

於：大阪市社会福祉研修・情報センター

（会場・Web 同時開催）

13:00～ 開会 会長挨拶

13:00～15:00 特別講演 「認知症によりそう歯科衛生士のまなざし」

講師：松本 一生 先生（医師・歯科医師）

＜医療法人圓生会 松本診療所（ものわすれクリニック）院長＞

15:00～16:00 会員発表

＜座長＞ 戸木 優子（大阪市教育委員会事務局 指導部 保健体育担当 保健体育グループ 担当係長）

演題1 多機関多職種連携の実情と課題

○榎井 悦子（大阪歯科大学大学院医療保健学研究科）

他機関多職種より情報開示されるまで、リハビリテーション栄養の概念に基づき、評価及び計画し、月2回言語聴覚士と協働し居宅管理指導を実施した。今回は、訪問言語聴覚士から歯科衛生士に協働依頼を受けた多職種連携の一症例を報告する。

演題2 歯科放射線実習における本学の取り組みについて

○尾形 祐己、梶 貢三子、前嶋 亜優子、大西 愛、寺島 雅子（大阪歯科大学医療保健学部）

本学口腔保健学科2年生における歯科放射線学実習では、歯科医師教員と歯科衛生士教員が協働で教育にあっている。口内法エックス線撮影補助実習では、学生がエックス線撮影装置と検出器の位置関係を歯科医師教員に指導を受けながら、相互にセッティングし、歯科医師教員にて撮影が行われる。学生は歯科衛生士教員の指導のもと、現像、画像処理を行う。パノラマエックス線撮影補助実習でも相互にセッティングし、歯科医師教員が撮影後、学生は暗室にて現像を行う。得られた画像は、マウント後に読影する。本実習に対するアンケートでは、従来の教科書での学びに比べ、実習を行うことでエックス線撮影についての学びが深まったとする学生が統計学的に有意に多かった。なお、本実習では、放射線被曝の観点より全学生、歯科医師教員がルミナスバッジを着用している。

演題3 カンボジアでの歯科活動

○杉本 葉子（わたなべ往診歯科）

カンボジアで小学校建設、障がい児への支援、貧困地域への支援を行っているNPO法人に歯科部門として2014年から参加している。設立した小学校は低学年のみで、永久歯萌出時期だが近所に歯科も無く、保険治療というシステムが無いいため、う蝕になれば抜歯という治療がほとんどである。障がい児はもっと環境が悪く医科的治療もなかなか受けられない状態で早くに亡くなるケースも多い。貧困地域では、親が都市部に出稼ぎに行き、村はお年寄りと子供たちという家庭が多い。それ以外の活動として、師範学校や中学校、孤児院への歯科予防活動を行っている。全体的に歯みがき習慣も乏しく、6歳臼歯はほとんどがう蝕に罹患している。そのため歯みがき習慣や食生活の改善のための啓蒙活動を行っている。今回はその概要を報告する。

演題4 災害歯科保健活動を担うための取組みについての報告

○大塚 晶子、安達 里美、岩城 一栄、打田 淳子、大濱 雅子、小杉 公子、瀬戸 邦子、
戸田 ちか子、中井 眞三子、東野 佳代子

(公益社団法人 大阪府歯科衛生士会 災害対策委員会)

大阪府歯科衛生士会では、大規模災害時に災害歯科保健活動を迅速かつ円滑に行うことを目的に、大規模災害時災害歯科保健活動基本指針を策定している。令和元年度には災害対策委員会を設置し、災害歯科保健活動の各種マニュアルを作成、大規模災害時災害歯科保健活動基本指針に基づき、平時の組織体制として会員安否確認システムの整備、災害歯科保健歯科衛生士登録制度の整備、災害歯科保健の啓発などに取り組んでいる。災害時でも、本会の目的である府民に対する健康と福祉の増進に寄与するために、災害対策委員会でのこれまでの活動内容及び今後の計画・課題等について報告する。

演題5 ハイジニストセンター研修会 スタリスタ研究会について【報告 1】

○松井 貴美、吉田 和美、大野 公子、山口 千里、品田 和子

(公益社団法人 大阪府歯科衛生士会 ハイジニストセンター部)

大阪府歯科衛生士会ハイジニストセンター部では、担う業務の一環として事業出務希望者には登録票の提出を義務づけ機関紙掲載により公募で出務者の確保を行っている。しかし近年、応募者の減少により、人材確保が困難な状況に陥ってきている。特に、幼稚園、学校、保健センター事業での地域歯科保健指導出務希望者数が少なく、現在の大阪府下市町村での事業も歯科衛生士が重複して出務することでかろうじて運営できているのが現状である。よって今後の地域歯科保健指導を担う人材不足を改善するため、人材育成が急務と考える。そこで、現状を招いた背景を担当部署で検討し、その改善策として人材育成のためのスタディーグループを立ち上げようと企画した。今年度は第一歩として、標記の研修会を1回だが開催できたので、そこに至るまでの経緯や研修会での様子などを報告する。

16:00 閉会



当日は、このプログラムをご持参及びご参照ください